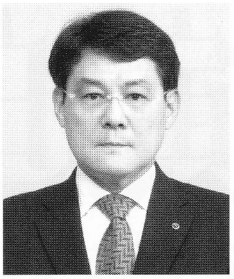
仙台オペラ協会
会報

第39号
仙台オペラ協会事務局
〒980-0012
仙台市青葉区錦町1丁目3-9
TEL&FAX.022-264-2883

会長挨拶

会長　藤﨑 三郎助


会長 藤﨑 三郎助

梅雨明け間近となり、想い出すのは二年前の夏のことです。大震災のあった年の七月、当協会は東京の新国立劇場地域招聘公演として創作オペラ「鳴砂」を上演しました。会員の皆様の多大なるご支援とお客様の熱い拍手を頂き、180名にも及ぶ出演者とスタッフの努力が実を結びました。その後の活動は本公演として昨年1月に「愛の妙薬」を、9月に「ドン・ジョヴァンニ」を上演し、今年2月には恒例の春の公演として「仙台オペラ協会と宮城の作曲家たち」と題した有意義な企画を行って参りました。

大震災からの復興には今後どれ程の時間とエネルギーが必要か計り知れません。心に受けた悲しみや苦しみに音楽の力の偉大さが認められている昨今、私どもに出来ることは、やはり活動を続けていくことではないでしょうか？　演奏部の方々にとっては本来の仕事や日常生活との両立はさぞ大変なことかと思います。しかし、音楽の力によって自分たち自身も元気になり、更にその力を社会に還元できるよう、是非続けて頂きたいものです。きっと会員の皆様も同じ気持ちで応援して下さっていると信じております。

今後ともご支援・ご協力の程、どうぞ宜しくお願い致します。

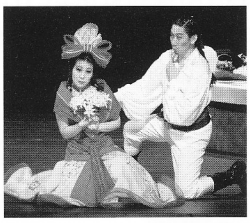
ドン・ジョヴァンニ報告

仙台オペラ協会芸術監督　佐藤　淳一

仙台オペラ協会にとって20年振りとなる「ドン・ジョヴァンニ」の公演は指揮・佐藤寿一氏、演出・渡部ギュウ氏によって成功裡に終了することが出来ました。ギュウ氏による衣装は和と洋の混じった斬新なものでしたが、観客にとってはそれぞれのキャストのキャラクターが目立って分かりやすかったとの評判でした。音楽面では寿一氏の人柄が作り出す雰囲気に、演奏した我々も伸び伸びと歌うことが出来ました。

今回は久しぶりに東京からのゲストとしてお二人の方にご協力いただきました。タイトルロールのドン・ジョヴァンニ役・党主税氏のシャープな身のこなしには共演者もぐいぐい引っ張られて、私たちに大きな刺激を与えてくださいました。騎士長役・斉木健詞氏の圧倒的な存在感は、今の日本での第一人者としての歌声を仙台の聴衆に十分に聴かせてくださいました。それに加えて私たちオペラ協会の若手と言われているメンバーも熱演。もちろん反省点はあるものの、2日間で1600名を超すお客様の前で充実した演奏が出来たのではないかと思っています。

ご来場ありがとうございました



Message　出演者より

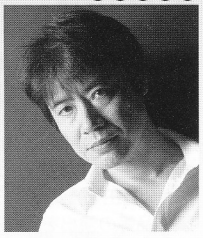
私の“ツェルリーナ”

出演者／小野 綾子

ツェルリーナ役を務めました、小野綾子です。たくさんのお客様にご来場頂き、大変嬉しく誠にありがとうございました。強く、賢く、複雑な心境の表現を要されるツェルリーナを自分の中に取り込むことに大変苦労しましたが、稽古を積む中、指揮の寿一先生、演出のギュウさん、共演者の方から様々なアドバイスを頂き、また、自分自身、ツェルリーナを好きになる事で、私なりのツェルリーナを見つける事ができました。そして美術、衣装、舞台と素晴らしいスタッフの方々のお力、芸術を実感した舞台でした。様々な経験をさせて頂けたオペラに感謝し、これからも努めて参ります。

Message　演出家より

「ドン・ジョヴァンニ」の演出を終えて


演出／渡部 ギュウ

イメージは“東北版”ジョヴァンニでした。古典の魅力は時代を超えた普遍をどこに発見するか、そして現代的アレンジがどこまで可能なのかを考えること。歴史の流れを感じながらもやはり“今“そして“未来”へとイメージは膨らみました。演出コンセプトを超えて、あるいは裏切られ（いい意味です）ながら、スタッフ、プレーヤーそれぞれの感性と人間味溢れる身体性は、この作品を爽快に表現していました。そして、モーツァルトの力強いコンテキスト（作品文脈）がすっきりと浮かび上がりました。仙台オペラ協会は若い力が育ち、いよいよ新しい時代に入ったと実感しました。いずれまた、ジョヴァンニに再挑戦させてほしいです。アイディアがどんどん浮かんでくる作品でした。

予告　春のインテルメッツオ

オペラ「セロ弾きのゴーシュ」　原作：宮沢賢治　作曲：林　光
オペラ・ガラコンサート（オペラ名曲集）

平成26年
2月（予定）
会場／未定

子供から大人まで楽しめる、宮沢賢治原作の「セロ弾きのゴーシュ」とガラコンサートの2部構成でお送りします。ご期待ください。

本公演迫る!

本番に向けて稽古中です!

2013年仙台オペラ協会 第38回本公演

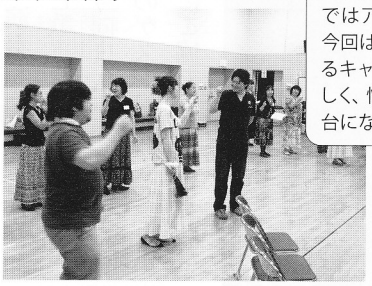
こうもり

2013年9月7日(土)・8日(日)
東京エレクトロンホール宮城

プレ企画「オペラへの招待」も盛況のうちに終わり、本公演までおよそ1ヶ月となりました。第20回公演から18年ぶりの「こうもり」、この演目を聞いただけで、楽しみにされている方もたくさんいらっしゃることと思います。聴いて楽しい曲は、歌っていても楽しいものです。しかしながら、やはり日本語を歌うことは容易ではありません。また歌詞の変更にも苦労しています。たとえば「こうもりの逆襲」を「こうもりの復讐」に、「泡立つ酒」を「きらめく酒」など稽古のなかでことばを変更した箇所がたくさんあるのですが、演技を考えながら歌っていると、つい最初に覚えた歌詞が出てきてしまいます。こうした失敗を繰り返しながらも、指揮の本多先生と演出の梶賀先生の力強いご指導のもと、着々と楽しい舞台になりつつあること実感しているところです。あと1ヶ月でこれをどこまで仕上げられるか、是非ともご期待ください。

男性よりも男らしいオルロフスキーを目指し、稽古に励んでおります。華麗なる舞踏会へ、皆様を招待いたします! 乞うご期待!

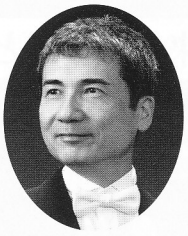
オルロフスキー役／鈴木 木綿子



20周年公演"こうもり"ではアデーレを演じ、今回は奥様! 魅力溢れるキャスト陣と共に楽しく、愉快な洒落た舞台になりますように!

ロザリンデ役／岩瀬 りゅう子

指揮者より



本多 優之

2009年の「魔笛」に続いて、再び仙台オペラ協会の皆さんと共演させていただくことになりました。「こうもり」は歌、芝居、踊りのそれぞれに見どころ聴きどころのあるとても楽しい作品です。それを梶賀千鶴子先生の演出でご一緒できるという素晴らしい機会をいただき、とても感謝しています。限られた練習時間でこの作品を仕上げるのは容易なことではありませんが、皆さんと力を合わせて、楽しく素敵な舞台にできるよう全力投球したいと思います。どうぞよろしくお願いします。

Profile

東京生まれ。国立音楽大学楽理科、ケルン音楽大学指揮科卒業。これまでにロストフ歌劇場、プロヴディブ・フィル、モラヴィア・フィル、東京混声合唱団、デボラ・ヨーク、緑川まり、木村かをり、野平一郎、木野雅之、奥村愛など、国内外の優れた演奏団体、ソリストと共演。2001年～07年まで宮城学院女子大学音楽科、05年からは同大学生涯学習講座、12年より福島大学非常勤講師を務める。

演出家より

梶賀 千鶴子

本物の「こうもり」って、よく見るととても可愛らしい顔をしているんです。世の中じゃあんまり好かれてはいないようだけれど…。でも好いていないのは人間のほう。舞台では、そんな人間たちの自己本位や愚かさ、可笑しさなどをポップに表現してみたいなぁと考えています。

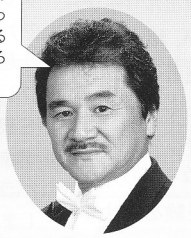
なんせ復讐喜劇ですからストーリーの重視は勿論ですが、演出はまずメインキャラクターの身体をほぐすストレッチからはじめました。現在稽古場ではチャーミングな出演者それぞれの個性を、絶賛お料理中です。

Profile

宮城学院女子大学日本文学科卒業。演出家、ミュージカル作家、振付師。
劇団四季に「ユタと不思議な仲間たち」「人間になりたがった猫」など多くの創作ミュージカルを提供、演出。1985年スカラ座（イタリア・ミラノ）蝶々夫人の演出補の他、冨田勲氏のオペラや松本幸四郎主演作品等の演出を務める。1990年に拠点を東京から仙台に移し作・演出したミュージカル作品数は140を越える。

ゲストの紹介

この度は仙台オペラ協会の皆様とワルツ王J.シュトラウスの名作「こうもり」に共演させていただく事とてもうれしく思っております。楽しい舞台になるよう全力を尽くしますのでよろしく御願いいたします。

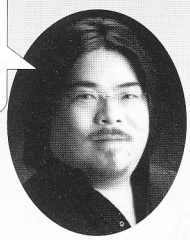


佐藤 一昭

Profile

日本大学芸術学部音楽学科卒、同研究科修了。1991年より仙台でオペレッタコーラス「ウイーンの散歩道」を立ち上げ指導。ほぼ一年おきに定期演奏会を開き、97年には同合唱団とクロアチアのシベニック音楽祭に参加し好評を得る。オペレッタにおいては「チャルダッシュの女王」（長門歌劇団）「ルクセンブルグ伯爵」「マリツァ伯爵夫人」「微笑みの国」「白馬亭」「春のパレード」「小鳥売り」「パリの生活」（オペレッタ協会）等数多くのの日本初演オペレッタに主演。

仙台オペラ協会の舞台にたてるなんて、全く思ってもみませんでした。驚きと喜びを胸に、楽しい舞台になるよう一生懸命がんばります。



佐藤 一成

Profile

武蔵野音楽大学声楽科卒業、福島大学大学院修了。福島県内の教員として、勤務する傍ら福島オペラ協会の公演を中心にオペラ、コンサート両面で活動している。特に日本歌曲の演奏研究に力を入れており、これまでに多数リサイタルを開催し、好評を博している。また合唱指揮者としても活動しており、子供から大人の合唱団まで指導している。竹沢善明氏に師事。

プレ企画「オペラへの招待」報告

7月14日（日）、グリーンプラザ仙台アクアホールにてプレ企画「オペラへの招待」が行われました。あいにくの天気の中、立ち見が出る盛況ぶりでした。ガラコンサートでは気迫のこもった演奏に会場からブラヴォーの声が上がりました。熱気が冷めやらぬまま、ファルケの語りで「こうもり」のハイライトを演奏しました。コミカルな演技に笑いがあふれ、指揮の本多先生の解説も聞くことができ、充実した演奏会となりました。本公演に行きたくなったとの声が聞かれ、うれしい限りです。足をお運びいただいた皆様、ありがとうございました。

研究生活動報告

第10期生報告

バリトン：高橋 啓
ソプラノ：及川 亜紀子（助演）

10期生2年目前期は「フィガロの結婚」1幕と「シモン・ボッカネグラ」の2重唱に取り組んでいましたが、9月初めに山口さんの留学が決定したため「シモン」を取りやめ、急遽及川さんに助演を依頼して、「フィガロの結婚」のみで前期の発表を行いました。高橋君と及川さんは1ヶ月という短期間でありましたが良く努力し、質的に高い演奏を行いました。2年目後期は、及川さんに引き続き助演をお願いし「フィガロの結婚」4幕の2重唱と、「リゴレット」の2重唱を研究しました。2年目の高橋君は発声・歌唱力においても、また、演技力においても大きな伸びを感じさせてくれました。（文責：應和惠子）

第11期生報告

ソプラノ：丹野 瞳
ソプラノ：高嶋 奈々

第11期生は一年前ソプラノ3名から始まりましたが、前期発表会前2名となり、丹野瞳、高嶋奈々両名で「コシ・ファン・トゥッテ」の二重唱を日本語で取り組みました。後期はこれをイタリア語で演技を付け、衣装・小道具等、2人の研究・工夫がなされた発表となりました。ソプラノの高嶋さんにはメゾ役のドラベッラを勉強してもらい、フィオルディリージとドラベッラの微妙な気持ちの変化や動きが、合同発表会では優雅に楽しい表情で表現されていました。二年目の前期は「蝶々夫人」に懸命に取り組んでいる最中なので、次回の発表会もどうぞお楽しみに。（文責：佐藤順子）

第12期生報告

ソプラノ2名の第12期生。隔週水曜夜6時半から2時間。モーツァルト“フィガロの結婚”（2.3幕）より、伯爵夫人：早坂裕美さん、スザンナ：小松さな恵さん。日本語で練習中です。身体リズム運動等もとり入れながら、夫人とスザンナの複雑な沢山の思いをどこまで表現できるかを目標に励んでいます。（文責：姉歯 けい子）

第12期生プロフィール

小松 さな恵

Profile

秋田大学教育文化学部学校教育課程音楽教育講座卒業。現在は宮城教育大学大学院修士課程音楽教育専修に在学中。これまでに声楽を爲我井壽一、長谷川留美子、應和惠子各氏に師事。

早坂 裕美

Profile

山形大学教育学部生涯教育課程音楽文化コース卒業、同大学院教育学研究科教科教育専攻音楽教育専修修了。これまでに畑山由佳、遠藤恭子、藤野祐一、藤野恵美子の各氏に師事。

2012年度義援金報告

長年東邦音楽大学で教鞭を取られ、現在までにいくつもの合唱団を指導され、巧みな話術で解説を交えたコンサートを行っておられる千葉県柏市在住の飯野淳也氏より、昨年暮れから仙台オペラ協会に義援金をいただいています。これは「歌とトークで結ぶこれでいいのいいのコンサート」と題されたシリーズで、年に数回開催されているコンサートの収益金が本協会に贈られているものです。今後行われるコンサートの収益金も引き続きお送り下さることになっており、感謝の念に堪えません。心より感謝申し上げ、皆様方にもご報告申し上げます。

平成25年度定期総会開催

去る5月18日(土)ホテル法華クラブ仙台において平成25年度定期総会が開催され、全議案異議なく承認されました。平成24年度収支決算は、会費・入場料等予想以上に収入があったことなどにより黒字になりました。

総会終了後、ディナーと「春のオペラコンサート」で楽しい時間を過ごしていただきました。

平成24年度事業報告（主なもの）

5月20日	青葉祭り絆コンサート出演
6月16日	役員会・定期総会
7月1日	「オペラへの招待」コンサート公演
8月1日	会報第38号発行
9月8～9日	第37回公演「ドン・ジョヴァンニ」
10月24日	県民ロビーコンサートに出演
11月29日	あけぼの幼稚園コンサート出演
12月5日	将監小学校等社会学級コンサート出演
2月3日	春のインテルメッツォ公演
2月15日	ますえの杜どうわ保育園コンサート出演
2月24日	名取市等共同制作公演「カルメン」に出演
3月5日	第10・11期研究生後期合同発表会

平成25年度事業計画（主なもの）

5月18日	役員会・定期総会
7月14日	「オペラへの招待」コンサート公演
8月1日	会報第39号発行
9月7～8日	第38回公演「こうもり」
10月5日	「せんくら」出演（「椿姫」ハイライト）
10月14日	第11・12期研究生前期合同発表会
2月	春のインテルメッツォ公演
3月	第11・12期研究生後期合同発表会
3月末	第五回役員会

※各種の出演依頼には積極的に応じていく。
※会員加入の促進に努める。
※財政基盤の強化に努める。

役員紹介

会長	藤﨑三郎助	藤崎　代表取締役社長
副会長	一力　雅彦	河北新報社　代表取締役社長
〃	亀井　淳一	カメイ　専務取締役
理事	相沢　光哉	宮城県議会議員
〃	姉歯けい子	オペラ協会演奏部会員
〃	大泉　勉	宮城教育大学名誉教授
〃	應和　惠子	オペラ協会演奏部会員
〃	片岡　良和	作曲家・住職
〃	佐藤　淳一	オペラ協会演奏部会員
〃	鈴木　誠	オペラ協会演奏部会員
〃	高野　光子	ホテルベルエア会長
〃	布田　庸子	声楽家
〃	八木　洵	エイトリー　社長
監事	熊谷　眞人	税理士
〃	三島　卓郎	弁護士
顧問	亀井　昭伍	前オペラ協会会長
〃	青木　茂之	前オペラ協会副会長
事務局長	庄子　真希	

仙台オペラ協会平成24年度 収支決算書

収入の部　（単位＝円）

〈科目〉	〈決算額〉	〈備考〉
前期繰越金	494,533	
会費計	4,644,070	
（個人会費）	920,000	
（法人会費）	434,370	
（演奏部会費）	3,049,700	本公演等臨時会費含む
（研究生会費）	240,000	
入場料計	10,599,090	
（本公演）	9,273,000	
（インテルメッツオ）	1,326,090	
広告費	1,265,790	プログラム広告収入
共催金	900,000	宮城県文化振興財団
助成金	6,600,000	芸術文化振興基金　350万円
		仙台市市民文化事業団　160万円
		花王芸術・科学財団　50万円
		カメイ社会教育振興財団　40万円
		三菱ufj信託芸術文化財団　60万円
業務受託料	458,400	カルメン名取公演出演他
寄付	878,055	義捐金、ご祝儀等
受け取り利息	335	
雑収入・未収金	5,999,060	総会時コンサート会費等
収入合計	**31,839,333**	

支出の部　（単位＝円）

〈科目〉	〈決算額〉	〈備考〉
出演費	4,785,000	指揮、オーケストラ演奏料等
音楽費	1,298,176	稽古ピアノ、楽譜代等
文芸費	1,607,765	演出、舞台監督費等
会場費	2,635,920	公演会場費
賃借費	365,025	稽古場借料等
舞台費	6,233,444	大道具、照明、音響費等
謝金	433,250	原稿代等
事務用品費	203,246	
印刷費	1,202,775	会報、封筒等印刷代
記録費	418,480	写真、ヴィデオ代等
福利厚生費	0	
通信費	304,978	郵便費等
水道光熱費	155,020	
旅費交通費	1,112,890	交通費、ホテル代等
租税公課	179,000	消費税、印紙代等
広告宣伝費	918,350	テレビ広告、ポスター掲示等
会議費	133,853	総会費、役員会経費等
制作諸経費	279,167	スタッフ弁当代等
運搬費	156,750	大道具運搬費等
消耗品費	10,088	紙代、テープ代等
家賃	268,689	事務局家賃
事務委託費	240,000	事務協力員経費
賃金	2,126,900	事務局員人件費等
リース料	247,599	コピー機リース料
支払手数料	41,130	銀行振込手数料等
雑費	409,038	パソコン修理代等
前期未払金	5,453,600	会場借り上げ費等
借入金返済	0	
予備費	0	
支出合計	**31,220,133**	

平成25年度収支予算書

収入の部　（単位＝円）

〈科目〉	〈予算額〉
前期繰越金	619,200
会費計	3,300,000
（個人会費）	1,000,000
（法人会費）	500,000
（演奏部会費）	1,500,000
（研究生会費）	300,000
入場料計	11,400,000
（本公演）	9,150,000
（インテルメッツオ）	2,250,000
広告費	1,550,000
共催金	900,000
助成金	6,600,000
業務受託料	100,000
寄付	800,000
受け取り利息	500
雑収入・未収金	1,017,000
収入合計	**26,286,700**

支出の部　（単位＝円）

〈科目〉	〈予算額〉
出演費	5,300,000
音楽費	1,150,000
文芸費	2,070,000
会場費	2,765,000
賃借費	230,000
舞台費	6,310,000
謝金	450,000
事務用品費	50,000
印刷費	1,247,000
記録費	460,000
福利厚生費	2,000
通信費	275,000
水道光熱費	160,000
旅費交通費	870,000
租税公課	200,000
広告宣伝費	800,000
会議費	135,000
制作諸経費	265,000
運搬費	120,000
消耗品費	10,000
家賃	270,000
事務委託費	240,000
賃金	2,220,000
リース料	250,000
支払手数料	40,000
雑費	100,000
前期未払金	234,500
借入金返済	0
予備費	63,200
支出合計	**26,286,700**

編集後記

編集にあたり、例年より早めに印刷業者と打ち合わせ。「もっと読みたくなるような紙面づくりを」をテーマに、文字を大きくし、写真を増やし、レイアウトを考え…。出来栄えはいかがでしょうか？　創童舎の阿部弘明氏に感謝いたします。

☆会費納入のお願い☆　本年度会費が未納の方は、お早めに納入くださいますようお願いいたします。